

山崎紫紅 しんこう 劇作家、詩人。明治八年二月三日神奈川縣生れ、昭和十四年十一月二十一日歿（二七五―九三）。本名小三。筆名いろいろ、指玉、紫紅生、紫紅鷄鳴、鷄鳴、鷄鳴子等。初の雑誌「明星」の詩等を寄稿。明治二十八年同誌の處女戯曲「上杉謙信」を發表、爾來伊井蓉峰、二世市川左團次等による上演作品多數を書き、關東大震災後は、神奈川會議長、横濱生絲取引所理事を務めるなど、政界、實業界の轉じりた。

著書「緞七の精梗」(明治二十九年九月十八日如山堂書店)、
「日蓮上人」(増訂・明治四十年七月二十一日金港堂書籍株式會社。四版。大正十四年十月十二日朝日書房)、
「法華經物語」(明治四十年十一月十九日布文社)、
「法華詩篇大日蓮華」(明治四十一年五月六日左久良書房)、
「史劇十一曲」(明治四十一年六月十五日博文館)、
「史劇十種」(大正二年九月二十日啓成社)、
「我等の劇」(合著・國民劇研究會編、大正十年十一月二十日國民劇研究會、大業民報社)、
「紫紅叢書・第一卷」(大正十四年十一月二十日横濱毎朝新報社出版部)等。

